

事業名	養護施設(ニュー・チャイルド・ケアセンター:NCCC)運営事業				1 貧困をなくそう	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	6 安全な水とトイレを世界中に
支援対象	シェムリアップ近郊の貧困家庭の児童							
活動理由 孤児、家庭での生活が困難な状況の児童を、安心して生活できる環境のもと養育し、就学の機会を与え、貧困の連鎖から抜け出し、自立していけるよう物心両面から支援する。カンボジアの良き市民となる人材を育成する。								
活動概要 1. 児童数 (のべ 19 名、2021 年 3 月 31 日現在 14 名、うち1名日本留学中) 退所:家庭復帰4名、就職1名(ともに8月)、入所:3名(10月) 2. 生活 学校閉鎖となり、センター内だけの生活となった。新型コロナウイルス感染予防に細心の注意をはらい、センターへの出入り制限や手洗い、うがい、マスク着用などの基本的な予防策を徹底した。福祉局から、衛生用品や食料、おもちゃなどの支給があった。 規則正しい生活を送るように時間割を作り、掃除、洗濯、食事の用意や畑仕事をスタッフとともに行った。クメール正月とプチュンバン(クメール盆)の里帰りや絵画教室など、楽しみにしている行事も中止となった。 新規入所児童が幼いため、センターでの暮らしやルール、身の回りの話などを年長者が積極的に行った。児童の入れ替わりが、単調なセンターでの暮らしに変化をもたらした。 3. 教育 学校閉鎖の状況を心配する会員の方から、インターネット回線の敷設とPCやタブレットの支援をいただき、オンライン学習が可能となった。年長者は学校からの宿題とオンラインによる自主学習を行い、年少者にはスタッフや年長者が指導している。しかし、長期の休校による学力の低下がとても心配である。								
						PCが届いた！触るのもドキドキ！		
						今日、男の子が後片付け当番		